



ブラック・スワン食糧保障

ブラックスワン食糧保障メールマガジン

「パンデミック、戦争の次は飢饉という負のトライアングル」

2022年3月18日配信号

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

本日も最新の食糧事情についてお知らせいたします。

既にご存知の様に、ウクライナ危機が連日の様に報道されています。ウクライナは穀物の一大輸出国ですが、今は農業どころではなくなっております。これについて我那覇真子さんと戦争記者マイケル・ヨンさんが面白い動画を作られているので、良ければご覧ください。(ちょっと長いですが...)

<https://www.youtube.com/watch?v=rlcasRmbPWY&t=1756s>

マイケル・ヨンさんのお話で注目すべきところは、「歴史的に見てパンデミックと戦争、飢饉は常に三角形の様に相互に作用する‘負のトライアングル’で、現在のウクライナ危機の次に起こるのは、食糧危機である」というものです。

戦争やパンデミックが起こると、人々が働けなくなり、農業を初めとする生産活動全てに影響していく。

既にシリアでは内戦の後遺症で深刻な食糧危機が起きているが、これがロシア・ウクライナで起きれば燃料や鉱物資源の価格上昇も加わり、もっと深刻な後遺症が世界中に波及するでしょう。

またロシアは石油・天然ガスの大輸出国であるだけでなく、肥料の大輸出国でもありますが、世界はこれらを一切買わないという方針に向かいつつあります。

しかもいったん禁輸になってしまうと、明日停戦合意がなされたとしても、数年はこの状態が続くでしょう。

昨日、日経のモーニングサテライトでもこのことが報道されていました。(写真参照)

[IMG_1242.jpg](#) [IMG_1243.jpg](#)

皆さんの身近なところでは、‘そば’は自給率が20%しかありませんが、最大の輸入国はロシアなのです。

小麦はウクライナなので、そばやラーメン、うどんなどの麺類は相当影響を受けるでしょう。

昨日、水産会社の社長をしている友人がやってきたのですが、カニと紅じゃけも壊滅状態との事でした。

最後に我々の業界で拡散している欧州のメジャーパッカー(豚肉の輸出会社)からきた一通のメールをご紹介します。

このEメールで現状の欧州豚肉市況についてお知らせいたします。
すでに物流費、包装費、人件費の高騰、そして子豚農家や肥育農家において多額の損失が起きており、欧州の豚肉価格に大きな圧力が加わっています。
しかし現在ウクライナ情勢が手に負えない状況の中、

- 燃料費が空前のレベルに高騰。
- 燃料費の高騰とウクライナからのドライバー不足による物流費の高騰
- 飼料価格が暴騰中
- EU内の多くの国では長期間のインフレ率。

これらの要因によってかつてないほどの豚価格の突然の暴騰が起きました。ドイツではこの4週間で45%上昇し、オランダでも4週間で38%上がりました。この高騰がいつまで続くのかは分かりません。

もちろん農家は養豚コストをはるかに下回る相場が長く続いたので価格上昇を望みます。しかしながら我々が直面している大きな段階は豚肉産業全体の利益に大きな圧力をかけています。

強烈な価格上昇はドイツで起こり、オランダはすぐに続きました。他のEU諸国も続くと確信しています。

しかしながら欧州の主要豚肉産出国は他の構造があり、豚価がこのような高値に行くまで少し時間がかかります。

すこしずつ価格が上昇しますが、最終的にはすくなくとも2.00/kgユーロのレベルまで上昇すると思います。

日本においてこのような価格上昇はあまりないため、次回の価格を提示したときにお客様方はパニックになり動揺するかもしれません。しかし弊社は大きく価格を上げなければなりません。そうしないとこの難局に生き残ることができないからです。ですので、このような状況をぜひご理解ください。

なにかご質問があればなんでもお聞きください。

私は水晶玉ではないので、すべてのことに答えられるとは思いませんが、できるだけ状況を詳しくご説明したいと思っています。

現在、欧州では多くの長期契約がキャンセルされ価格の再交渉が始まっております。

しかしながら既契約をキャンセルすることは私の流儀ではありません。

次回の成約分で価格上昇をし、今回の契約分で発生した損失分を補いたいと思っております。

御社のご理解と相互利益を見つけることにご協力ください。

この件は背景の情報についてご質問があれば遠慮なくお聞きください。

一部おどろおどろしい内容になってしまいましたが、

皆様の食肉分は弊社が流動性在庫でしっかり保管しておりますのでご安心ください。

ブラックスワン食糧保障

草間 弘人

正しく表示されない場合は[こちら](#)

今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます](#)。